

## エフエムふじごこ 第20回番組審議委員会議事録

1. 開催日時 令和2年10月26日（月曜日） 18:00～19:00
2. 開催場所 （株）CATV 富士五湖 2F 会議室
3. 委員出席 番組審議委員総数 12名 出席委員数 9名  
出席委員の氏名  
刑部一吉、望月 勉、萱沼 明、小野政秋、半田初幸、飯島 武、  
田辺将之、武藤里美、工藤津菜実  
欠席委員の氏名  
岩森園子、渡辺明美、加々美弘子  
  
放送事業者側出席者名  
武川以爾身、権正一雄、宮下米夫、堀口美智幸

4. 議 題 1) 災害時の情報発信システムについて  
2) Morning Forest に関する意見等  
3) その他

### 5. 議事の概要

番組審議委員会が新体制となり2回目の委員会となるため、エフエム富士五湖の基本的な目的である「災害時の情報発信」について、仕様・方法等を説明した。

また、平日朝の番組「Morning Forest」について感想・意見・提言等を頂きました。

### 6. 審議内容

#### 1) 災害時の情報発信システムについて

エフエム富士五湖では、災害時または災害の発生の恐れがある時には、本来の放送に優先して、情報を発信することが求められるため、平時の防災行政情報、安心安全メール等の発信以外の方法として、富士吉田市役所に設置した「緊急割込み放送システム」、「富士吉田市緊急情報伝達システム（屋外防災子局および防災ラジオに対するFM放送波からの自動起動信号送出）」、「CATV 連携放送」、「送信所からの直接放送」等、通常スタジオ使用以外の放送形態が可能である旨の説明が行われた。

#### 2) Morning Forest に関する意見等

- 車のラジオや作業場のラジオにおいて聞いているが、県域放送のFM 富士と比較すると、電波が弱いのか富士吉田市内から離れると聞きずらくなってしまふ。この対応は何かならないだろうか？

- 陳情等を行うことも難しいのか

〔回答〕

コミュニティFMについては、現状放送法で、最大出力20Wと規定されています。エフエム富士五湖の送信所・中継局いずれも最大の20Wでの出力となっており、周辺6市町村の人口の90%以上の地域はカバーできているとは思いますが。しかしFM富士ように300Wの高出力しかも、標高1700mの三つ峠からの送信と、山梨県内のFM局では本来ありえないようなFM局比較すると、受信状況はあまり良くないとされてしまいます。

エフエム富士五湖では、開局時に、標高の高い場所からの送信等も検討しましたが、許可とならず現状が最良の送信所となっています。屋内など受信状況があまり良くない時には、送信所がある方向の窓辺に設置して頂きたいと思えます。

- 五合目についても、同様に聞きづらい場所があるが

〔回答〕

五合目につきましては、レストハウスや駐車場等がある場所の送信所側が丘となっており、受信しづらいものです。登山道については遮蔽するものがないので受信は可能です。

- 番組を聞いていると、リクエストされる方が同じような方が多いように感じる。これにより同じ年代の好みのリクエストが多くなっているように思う。
- リクエストを実際にしてみた。取り上げて頂く確率も高く楽しいと感じた。番組審議委員の皆さんも、周囲の方にPRじてリクエストなどを出してもらってはどうか。
- もうすこし若い方からのリクエストが多くなるように検討する必要があるのではないか。
- 高齢者だとメールによるリクエストはなかなか難しいと思う。簡単な電話リクエストの対応は可能なのか？

〔回答〕

現状は、基本的に電子メール、FAXとなっており、たまにFAXが送られてくる状況です。一応電話でのリクエストは公式には受付けていませんが、場合によっては対応するようにしています。

リクエストは、簡単に送れるようにHPにリクエストフォームを用意していますので、必要事項を順に記載してホームページからの送信が最も簡単な方法となります。

- 1週間ほど前になるが料理の話をしていた時に、楽しく聞かせて頂きました開局時に比べて、パーソナリティの皆さんも慣れてきたように思います。他局と比べてもそんな色ないと思います。
- 朝の出勤時に聞くことが多く、なぞなぞのコーナーを良く聞く。簡単な時と、頭を悩ます時があるが毎日楽しみに聞いています。ただし、長く引っ張り過ぎているかなと感じるときもあります。
- ホームページ上で、パーソナリティと番組、曜日を分かり易くして頂きたい。ラジオだから顔が見えなくても良いのではなく、誰がどのような話をしているのか興味のある人もいるのではないか
- パーソナリティ年代に合わせて、話の内容を変えてみても良いのではないかと思う。若い人には若い人の発信の仕方あると思うので、そうした面を生かしていくのが良いのではないか。

〔回答〕

パーソナリティ紹介については、入れ替わりや、担当番組の変更などもあり常時変更は費用的な部分も発生しますので難しいのですが、年2回発行する番組表をPDFで表示できるように工夫したいと思います。

- 今後、ラジオドラマを放送するという話を聞いたがどのようなものか

〔回答〕

本年は、コロナ禍のなかで舞台で公演や発表などを行うことが難しくなっています。そうした中、ラジオという媒体を活用して発表の場をつくるものです。今回は、時間枠を購入して頂き、自由な発表の場を設けました。現在、収録の打ち合わせを進めており、11月11日夜8時からの放送となります。

## 7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容

次回発行の番組パンフレットに、ホームページからのリクエスト方法について記載しました。

## 8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 ①自社番組内において放送  
②事務所への備置き  
③自社ホームページへの掲載 (<https://www.fm2255.jp/>)

公表の内容 番組審議委員会翌日の自社番組内において、ニュース形式で開催と簡単な内容を伝え、詳細な内容についてはホームページへの掲載を告知した。

以上